

## ◆ 新型コロナウイルスに対する取り組み

5/25 に全国的に緊急事態宣言が解除されました。

これを受けて、早稲田京福語学院では学生にアンケートを行いました。

コロナを心配して登校を控えたいという学生がいる一方で、教室で授業を望む学生もいることが分かりました。

そこで学内協議の結果、登校に向けて以下の様な施策を設けました。

### 【分散登校】

感染拡大状況が落ち着くまでの間は、入室を受け入れる学生人数をクラス定員の 1/2 を上限とする。座席は、前後左右の間隔をあけて座ります。

### 【密閉空間の防止】

教室入口の開放、窓ガラスの開放により教室内喚起の徹底を行います。  
空調機器による強制換気を併用します。

### 【飛沫感染の予防】

教職員はマスクを着用します。

マスクがない学生には学校から支給しています。

### 【接触感染の予防】

校内入り口に手指消毒アルコールを常設し、来校時の消毒殺菌を必ず守ります。

ウイルスが滞在しやすいと言われている場所（ドアノブ、机、椅子、教師が用いるパソコンや器具など）のアルコール消毒を行っています。

また、学生 1 人につき 1 本消毒液を配布しています。

### 【登校を控えてもらう基準】

- ・発熱がある場合（目安は 37.5℃以上）
- ・咳、くしゃみ、鼻水など体調不良がある場合

## ◆ 6/1 から実施している授業は『登校授業』+『オンライン授業』

先述の基準をもとに、登校を希望する学生は教室で授業を受けられます。

留学生にとってビザ更新や進学に一番大切な出席率に影響があることを懸念し、これまでは無理してでも学校に出席することが見られましたが、当校ではオンライン授業も継続しておりますので、体調不良時は自宅で登校した学生と同じ時間帯で授業を受けることが可能です。

#### ◆ 今後の予定と方針

緊急事態宣言は解除されましたが、早稲田京福語学院では随時学生アンケートを実施することにより学生の状況を把握し、登校授業から完全な授業再開へ移行していく予定です。

もちろん、現実的な感染の状況を見極めつつ、学生の安全と安心を最優先に学習支援に従事していく方針です。

#### ☆ 京福語学院トピック ☆

早稲田京福語学院では各教室に最新型のプロジェクターが設置されています。

ホワイトボードにプロジェクターで PC 画面を投影することにより、登校した学生と WEB で参加している学生両方が同じ板書を閲覧することが可能です。

日ごろから、教師はノート PC を用いて IT 機器を活用した授業を実施してきました。

このように、早稲田京福語学院ではコロナ以前から IT 機器を利用してきたことで、オンライン授業にスムーズに対応できました。

6/1 からの分散登校も、必要に応じてオンライン授業を選択できるので、出席率を下げずに安心して充実した授業を受けられます。

一時帰国中の学生や、入国待ちの新生もオンラインでの授業参加が可能です。

また、感染症対策として、除菌効果のある消毒液を、学生 1 人につき 1 つ配布しています。